

## 東慶寺新春句会報告（平成26年2月18日）

参加：昭和寮逍遥会 木下恵裕、高村和夫、

湘南桜友会 小菅孝二、曾根清暢

NEWフォーラム 小笠原昌夫、加畑高治、和田忠明、田中利一、西澤重篤

経過：12:00 集合 逍遥会、桜友会は小菅さん案内で安倍能成先生墓参

12:30 参加者紹介句会開始、

13:00 小菅さんによる俳句の渊源、特性、俳句界の群像、国際化の講義

13:30 加畑さんによる詠み上げ、作意、講評

15:00 終了、座禅開始 大慶寺 磯谷恵覚和尚ご指導

16:00 座禅終了解散

天候や体調不良のため参加者は9名であったが木下、加畑さんの指導で内容は格調高く、楽しい句会となった。次回からは湘南桜友会、昭和寮逍遥会の主催とすることになった。

### 投句一覧（全17句）

1. 秋日和 秀峰富士に 抱かれけり
2. おだやかな 日々のくらしや 喜寿の春
3. さくさくと おちばふみゆく あさぼらけ
4. 墓参り 母の化身か 蝶が舞い
5. 大雪（ゆき）かきで ふるさと想い 汗をかく
6. 七十路（ななそじ）半 アトラス超えて サハラ廻（み）る
7. 春隣（はるとなり） 水月観音 憩う寺
8. 寒椿（かんつばき） 我と向かいて 何語る
9. 友ありて はるばる訪（と）いし 梅の寺
10. 家包（いえずと）と 初孫（ういまご）乗せて 帰省バス
11. 梅におう 誰姿森（たがすのもり）の 五輪塔
12. 初雪や 我が足跡の 確かなり
13. 在りし日の 友を語りて 時過ぎぬ
14. 故郷（くに）なまり 語りし友の なつかしや
15. わが命 ままならぬゆえ 心して
16. 梅の園（その） 師の影偲ぶ 同胞（はらから）我ら
17. 陽のあたる 壁に影あり 猫屋根を往く

皆さん想いの句を頂き、4,9,2,3,7,8,5,6,13,15などに票が有りました。有難うございました。

大雪の 残雪に咲く 梅の花 水月観音 春を呼ぶなり

「教育（今日行くところが有る）・教養（今日用が有る）」で老化防止して行きましょう。

以上





暮参・観梅:

安倍先生の肯て院歌を奏げた。

新春句会!

ホ2国目の句会となった。4名の参加だったが、加畑さんの名司会で格調高い会となった。小菅さんの俳句の厂決は参考になった。木下さんの講評で統括は必ずと感じた。投句にも感謝です。



座禅指導:

大慶寺副住職

石坂谷 勇 寛 和 尚

海誓を正し、丹田中心に呼吸する。考えない...考えない...

**大慶寺**

所在地 神奈川県鎌倉市寺分1-5-8  
 山号 霊松山  
 宗派 臨済宗円覚寺派  
 本尊 釈迦如来  
 創建年 弘安年間(1278年~1287年)  
 開基 長井光禄大夫、大休正念(開山)

大慶寺(たいけいじ)は、神奈川県鎌倉市にある臨済宗円覚寺派の寺院。山号は霊松山。本尊は釈迦如来。

創建は弘安年間と伝わる。創建当時は現在より南東(梶原1丁目、現鎌倉市立深沢中学校付近)にあった。

1386年(至徳元年)に関東十刹と列せられるなど、鎌倉幕府・室町幕府による禅宗保護の政策により発展し、深沢周辺に広大な寺域をもった。大慶寺周辺一帯は「寺分」という地名だが、これは「大慶寺の寺域」に由来する地名で、往時の広さを推測できる。

しかし、1512年(永正9年)には北条早雲の軍勢に寺が焼き払われ、その後も上杉謙信の鎌倉侵攻(小田原城の戦い)の影響を受け、本尊はじめ諸像を円覚寺に退避させるなど、戦乱の影響によって次第に衰退していき廃寺となった。1841年(天保12年)に成立した新編相模国風土記稿には「大慶廃寺」との記載があり、江戸時代後期には廃絶していたと推測される。

その後、1943年(昭和19年)に大慶寺の塔頭だった「方外庵」を大慶寺に改称し、現在に至っている。

**市指定文化財**

- 木造釈迦如来坐像 (本尊)
- 鎌倉時代の石塔2基

**市天然記念物**

- 樹齢700年と伝わるビャクシンの木2本

**そのほか**

- 大慶寺開山大休正念木像
- 方外庵開山秋潤道泉木像